

旧絵鞆小円形校舎の保存活用及び歴史と文化政策に関する公開質問状（回答）

質問1 人口について

①人口目標数字：人口増のための5年後、10年後の人口目標数字を教えてください。

（回答）

- ・青山候補：室蘭市人口ビジョンにおいて、2040年の目標人口を70,128人としており、中間段階は参考値となりますが、2025年で81,751人、2030年で77,426人となります。この数字を参考にしつつ、下げ止まりに向け対策を講じていきます。
- ・川畑候補：5年後 80000（交流人口 宿泊現状20万 → 50万人）
10年後 90000（交流人口 宿泊 50万人 → 80万人）

②人口施策：その目標を達成するための施策には何がありますか？

（回答）

- ・青山候補：室蘭市総合戦略に基づき、まちの特性を活かした雇用の場の産業創出や、子育て世代が住みたいと思える支援充実、港や観光資源を活かした交流人口の増加、広域連携等による魅力ある地域づくりをパッケージで進めています。
- ・川畑候補：短期的視野でのアクション
市内在住者の住民票異動の促進
 - ・大学生や専門学校生などの視点に立った異動メリットの提供
例) ムロランキャンパスカードの導入
 - 市内イベント・施設などの優待制度
 - 市民講座などの単位認定制度
 - 後述のドローン教習所の授業料割引
- 中期的視野でのアクション
若者層の定住政策
 - ・市内企業の欲しい技術の学校カリキュラム化（地域と教育訓練機関の真の連携）
 - ・3工1技連携（大学・専門学校・高校・技専）で地域にマッチした人材育成
 - ・空き住居などの情報発信の充実

- ・市内渴望職種の新規就職者への奨学金肩代わり制度
- ・異性だけではなく同世代同性の出会いイベントの必要性（はがない対策）

長期的視野でのアクション

出生率の向上政策

- ・参加者の視点に立ったイベントの検証
- ・出会いコンシェルジュ制度の認定
- ・男女不妊治療などのサポート

③インフラ維持：外からの流動人口の要、JR（室蘭-東室蘭）・長距離バス（はやぶさ・白鳥号他）などのインフラの維持対策は何だと考えますか？

（回答）

- ・青山候補：室蘭を発着する利用人員の確保が基本と考えており、人口減少の抑制による利用者確保に加え、産業振興によるビジネス利用、観光振興等による交流人口など外部からの利用者確保が必要と考えます。

- ・川畑候補：①で言及した交流人口の増加、民泊や宿泊施設の充実施策。

コンサドーレの試合や厚岸かき祭りのイベントも有効。

④定住策：自分の子供、親戚の子を、室蘭に就職させたいと思いますか？また、どうすれば流出を防ぎ、若い人が住みたくなる魅力あるまちになると思いますか？

（回答）

- ・青山候補：子ども達には幼少の時から室蘭の魅力を感じてもらうことが、定住につながる第一歩だと思います。まちの特性を活かした雇用創出や企業誘致、起業支援等による働く場の確保に加え、住環境整備や余暇空間の充実、子育て支援など、総合的な取り組みを通して、若い世代が住みたいと思えるまちの魅力向上が必要と考えます。

- ・川畑候補：産業構造の重層化を図り室蘭で就職に加え独立開業しやすい環境。

ただし、国内外の違うまちには住んでほしい。

⑤**気概**：今回の選挙だけでなく、将来10～20年後の厳しい状態の室蘭を責任をもって、「**心中する覚悟**」を持ってリードする気持ちはありますか？それはなぜですか？

(回答)

- ・青山候補：これまでも努めていますが、市長として中長期を展望し、市民の暮らしの安心を担う責任と覚悟を持ってまちづくりを進めます。大好きな室蘭にこれからも市民が安心して希望を持って暮らしていただきたいからです。

- ・川畑候補：今のままでは室蘭はなくなることと思いますが、様々な積極政策を経ていけば噴火湾経済圏の両輪の一つとなりうると思う。自分の提唱する政策がことごとく失敗すれば心中します。特に理由はなく自分の故郷だからです。

質問2 旧絵鞆小について

①旧絵鞆小体育館棟の存続：絵鞆小学校体育館に関して市は取り壊しを決定していますが、立候補者の立場から「存続可」か「存続不可」かまたその理由を率直に教えてください。

(回答)

・青山候補：体育館棟については、昨年実施した事業者公募において事業者選定に至らず活用の見込みがないこと及び、施設の老朽化に伴う生活環境の悪化を防ぐために存続できませんが、施設解体後の跡地や存続する校舎棟を活用し、敷地に残る縄文・アイヌ文化の保存を図ります。

・川畑候補：造形物としての価値、加えて北海道庁公認のアイヌ民族による史上初の近代教育施設という金字塔、地域住民の地域イベントの最初と最後に「絵鞆小学校校歌斉唱」という事実
に敬意を払うことは市政としては当然のこと。

しかしながら、維持費用ということは重くのしかかる問題です。

黒字事業の導入が強く望まれる。

以下、私見ですが、

・今後、ますます注目されるドローンの教習所の検証

市場性：建設・防災・観光・農林漁業・物流での活用、室蘭では大型工作物の品質管理の用途もある。千歳科技大の台頭による工大の苦戦という話題づくりの必要性、工学院や技専の生徒募集の呼び水にもなり得る。人口減少対策の短期対策のムロランキャンパスカードによる割引や卒業単位認定などの連携策も導入させる。

差別化：現状、飛行時間数を稼ぐだけの施設が多い中、複雑な屋内コース、夜間飛行、センサーのみ飛行などの多様な訓練は北日本オンリーワンとなり得る。

・その他の用途として

現在も利用されているスポーツ団体への貸与。

防災関連備品のストック施設。

近隣住民の避難施設。

演劇など市民文化団体への貸与が考えられる。

② マイナス入札

● 青山市長候補：なぜ、旧絵鞆小をマイナス入札にしなかったのでしょうか？

● 川畑市長候補：絵鞆小2棟の円形校舎がマイナス入札にしない市政運営の姿勢をどう考えますか？立地適正化計画で絵鞆祝津地区が切り離されている現状をどう思いますか？

(回答)

・ 青山候補：マイナス入札は、市有地を売却する際に、施設解体費が土地価格を上回る場合において、土地利用の促進を図るために実施していますが、校舎・体育館棟敷地は包蔵地であり、土地は売却せずに市が保有し続ける予定のため、マイナス入札の対象とならないことから実施しておりません。

・ 川畑候補：市民目線から離れている室蘭市政を如実に表している事象。
場当たりの政策の表れな気がする。

③ 文化財審議会と絵鞆小

● 青山市長候補：議事録を見ると、結論ありきで職員が動く態度だけが見えます。なぜこのような状態を放置してきたのでしょうか。この状態は今後も続くのでしょうか？

● 川畑市長候補：以上の経緯と、文化財審議会の議事録を読んで、もし自分が市長であればどのようにしますか？

(回答)

・ 青山候補：文化財審議会のご意見も伺いながら活用に向けた事業者公募を行いました。結果として事業者選定に至らなかったことから、今後の校舎棟の活用及び敷地活用についてご理解をいただくよう丁寧な説明を行います。

・ 川畑候補：審議会の件は諮問という手続きを踏みましたというアリバイ工作に見える。工大教授の辞任も市民には衝撃だった。絵鞆小だけで言えば上述のような方針に加え、市民アイデアを今一度募りたい。だんパラスキー場の件も同様の気配であり、市政の決定における判断基準を明確化・公開したい。

質問3 市史編纂室について

①これまでの不設置の状況をどう考えますか？なぜ設置せずに来たのでしょうか？今後市史編纂室を設置する予定はありますか？

(回答)

- ・青山候補：市史編纂室は、市制 80 年・開港 130 年に合わせ企画され、平成 19 年 3 月に発行された新室蘭市史第六巻を機に廃止されました。本市は 3 年後に市制 100 年・開港 150 年を迎えることから、今後先人への感謝や未来への思いを込めた取り組みを検討する中で、市史編纂のあり方について判断します。
- ・川畑候補：これについては分かりません（市民の声・議会・行政内部の事情を聞かなければならない）。

②次期市長になった場合、今後市史編纂室を設置する予定はありますか？

(回答)

- ・青山候補：市史編纂室は、市制 80 年・開港 130 年に合わせ企画され、平成 19 年 3 月に発行された新室蘭市史第六巻を機に廃止されました。本市は 3 年後に市制 100 年・開港 150 年を迎えることから、今後先人への感謝や未来への思いを込めた取り組みを検討する中で、市史編纂のあり方について判断します。
- ・川畑候補：①と同様ですが、市史に詳しい市職員が不在が予想されれば民間委託とする可能性はありうる。

質問4 景観条例について

①景観条例：景観条例は制定する気持ちはありますか？無ければない理由は何ですか？

(回答)

- ・青山候補：歴史的建造物の指定を中心とする景観条例の制定は考えていませんが、歴史的建造物を活用したまちの賑わいづくりや商店街の活性化が図られる場合は、地域と連携しながら案内や周知等の支援が必要と考えます。
- ・川畑候補：景観条例という名前は別にして、文化物保護的な条例はあっても良い地球岬周辺を二ホンザリガニ保護特区にしようとしたことはありますが・・・

②コンセプト：そのコンセプトをお答えください。

(回答)

- ・青山候補：歴史的建造物の指定を中心とする景観条例の制定は考えていませんが、歴史的建造物を活用したまちの賑わいづくりや商店街の活性化が図られる場合は、地域と連携しながら案内や周知等の支援が必要と考えます。
- ・川畑候補：文化的・自然環境価値の評価・磨き上げ。

③組織連携・品格：開港の地にある歴史解説看板がはがれています。次期では改善しますか？

(回答)

- ・青山候補：現在実施している室蘭駅周辺地区の再生事業に合わせ、地区内における回遊性や賑わいづくりの観点から、現在の歴史説明看板のあり方を再検討し改善を図ります。
- ・川畑候補：看板に加え、拡張現実（AR）技術の実践場とするのは面白いかもしれない。

質問5 市民不在

①市民不在：「市民不在」に関する根本的な問題の解決策は何だと考えますか？

(回答)

- ・青山候補：これまでも市民意見のまちづくりの反映に努めてきました。「きらん」の開設など市民ワークショップを通して、具体的事業における成果を感じています。計画策定等をテーマとする場合の、参加者の意欲向上や成功体験につながる手法について、これまでの経験を踏まえ検討します。市の方針と異なる場合でも、要望を反映できる方策はないかと検討し、最終的な判断をしています。知利別町のおんぼんたんの木の存続を求められた際も、検討を重ね関係機関の協力をお願いし存続に至ったものもあります。

すべての要望に応えることの出来ない場合も多いのが行政ですが、賛否の分かれる課題に対しては、双方の主張に耳を傾け尊重しながら、最大公約数の解決策を導く努力を続けることが大切と考えます。 (以上、①②への回答)

- ・川畑候補：市職員の市民ファーストの意識付け。

②解決案実施：次期でその解決策をどういったかたちで考え実施しますか？

(回答)

- ・青山候補：(①参照)
- ・川畑候補：市職員の評価項目に加える。

質問6 歴史・文化と観光

①観光：人口減、JX撤退など経済力が弱体化していく中、経済力の1つとして観光を押し進める考えはお有りでしょうか？無い場合はその理由は何でしょうか。

(回答)

・青山候補：この8年間で夜景観光を一定程度まで認知いただく取り組みをしてきました。クルーズ船受け入れについても、地域経済の循環を意識した取り組みも進んできています。今月末の道の駅みたら室蘭リニューアル後の動向を的確に踏まえ、きめ細やかなニーズに対応し、白鳥大橋の観光活用など祝津地区の観光振興を図るほか、増加するインバウンド需要にも対応を図り、稼ぐ観光の推進を図ります。

・川畑候補：観光予算は1桁違うと常々考える。
最も基本的な宿泊客向け飲食店情報なども足りない。

②歴史文化史源の活用：観光推進には何らかの観光資源が必要ですがその中に「歴史」や「歴史的建造物」を活かすことは考えていますか？仮に「歴史」や「歴史的建造物」を観光に活かさないとお考えでしたらその根拠を教えてください。歴史、歴史的建造物を活かさないで、人を呼び込む策はあるのか？外貨を稼がずに収益を上げる自信があるのか、数値目標はどうか教えてください。

(回答)

・青山候補：旧室蘭駅舎横にSLを移設し、歴史的建造物である駅舎と一体となった観光資源としての魅力向上を図るほか、中央地区においては地域の歴史性を回遊性向上につなげる方策を検討します。

・川畑候補：東京国立博物館所蔵の縄文土器などが室蘭で出土された事実は市内でもっと評価されるべき、歴史観光については元日本旅行札幌支店長のアドバイスを頂き、誘客できるコンテンツかどうかを見極めたい。もしくは旅行会社の協力を仰ぎ、モデルツアーを市民団体から企画募集し、市場ニーズと可能性を調べたく思う。

ライトユーザー取り込み手段としてはグルメツアーで

- ・厚岸の牡蠣
- ・釧路のサンマ
- ・函館の活イカ
- ・室蘭のホタテ（他に有望なのはブリ、地ワイン、地元の肉）

というようにしていきたい。養殖と科学技術、自然環境の変化の観測などを高度化して安定供給する必要はある。

数値目標は最初の質問の回答をご参照ください

③歴史文化資源のストック：文学館の会の横田さん、ふくろう文庫の山下さんなどをはじめ、これまで室蘭の文化を支えて来た人の高齢化が進み、後継者が減少することが見込まれます。文化・知的資産が失われようとしています。こういった知的資源を今後どのようにストックし、活用していこうと考えますか？図書館の民営化を目指すのであれば、より深刻な問題になると考えます。見解をお応え下さい。

(回答)

- ・青山候補：文化・知的資産の適切な保存と展示が必要と考えており、新図書館においてはふくろう文庫や郷土資料展示の充実を図ります。新図書館の運営については、現体制でスタートを予定しています。
- ・川畑候補：図書館運営については民営化を目指しておらず、知的資源のストック・活用については当事者に直接お聞きしたいと思います。

④歴史文化資源の活用施設：文化財審議会の言うとおり、グランドと2棟合わせて活用することも一案です。歴史と文化を観光に活かす。伊達市に出来て、室蘭市に出来ないのはなぜでしょう？

(回答)

- ・青山候補：旧室蘭駅舎横へのS L 移設と展示の充実、旧絵鞆小学校を活用した縄文、アイヌ文化の保存と伝承、広域連携による炭鉄港、アイヌ文化の魅力発信により、歴史と文化を活かした観光振興を図ります。
- ・川畑候補：陣屋の資料館の収蔵品のダブっている部分を購入したいという方を知っていて、値段次第もありますが、販売も含めた整理をきちんとして展示・収蔵したいという思いはあります。伊達でできて室蘭でできない理由は、
 - ・文化的キュレーターを育てないもしくは評価しない（できない）。
 - ・趣味が美術館巡りというような首長が今までいなかった。

絵鞆小学校についてはプールも含め全施設残す予定です。